

健康友の会みみはら2022年4月会員数(世帯数)

会員数	40,373	(前月比) +	27
郵送	8,985	(前月比) -	35
手配り	28,202	(前月比) -	141

協同基金到達額 2,578,202,000円(4/30現在)
[前月比 9,355,000増]

協同基金出資者数 21,372名(4/30現在)
いのちを守る助け合い募金額 47,746円(4/1~30)



発行
健康友の会 みみはら



本部事務局組織部
機関紙編集委員会

〒590-0821
堺市堺区大仙西町6丁184-2
Tel.072-244-8061
Fax.072-244-7860

1部30円

輝け憲法！ 平和と命と人権を！

3500人が参加

おおさか総がかり集会

5月3日 扇町公園



輝け憲法！ 平和と命と人権
◆ロシアはウクライナ侵略をやめろ
◆東アジアに平和を！ ◆憲法いかに政治を！ ◆カジノよりコロナ



健康友の会みみはらからも参加

7月の参議院選挙で

いのち・くらしを守ろう

3年ぶりに会場開催された「おおさか総がかり集会」には、3500人が参加。オンラインでも同時配信されました。

立憲民主党、日本共産党、社民党、れいわ新選組の各代表があいさつ。「国際社会は一致団結して、ロシアの侵略をやめさせよう」との力強い訴えに、会場は盛り上がりしました。

メインスピーチは湯浅一郎さん(ピースデポ代表)が、ロシアのウクライナ侵略を機に、軍事力増強や核共有、憲法改悪の動きが強まる中、今こそ、憲法9条に依拠した軍事力に頼らない外交交渉こそ重要」と強調されました。ウクライナに平和を、「カジノあかん」など、様々な分野の市民のリレートーク。最後に「いかそう憲法」「戦争やめる」のポテッカードを全員で掲げました。

選挙に行こう学習会

「参議院選挙に行きまっしょい！」



②選挙に行ったら政治が変われば、私たちの暮らしも変わる！！

4月25日、参議院選挙に向けての学習会を、脇山弁護士を講師に開催しました。「政治なんて私たちに関係ない」「選挙行っても、世の中変わらない」「参議院なんて意味ないから行かない」などの声に、選挙に行ったら政治を変えることでくらしが変わることを実例から説明されました。職場や家庭、知り合いなど、いろいろなところで参議院選挙を話題にして、必ず投票に行くことを確認しました。

聴診器

コロナ第6波で人口当たりの死者数が最も多いのは、大阪府だった。昨年夏の第5波では、日本中で感染者が増え、入院できない人が続出した。政府の自宅待機方針で、医療機関にかかれずに亡くなる人が出てしまった。当時の首相・菅さんは、当初から「ワクチンが切り札だ」と言っていたが、体質的に打てない、打ちたくないという人もいる。供給は遅れ、今年2月末までに65歳以上の希望者全員接種はできなかった▼他国に攻められなかったために、プーチンのウクライナ大量殺人に乗じて、「日本も軍事費をGDP1%から2%に」「敵基地と中枢を攻撃する」「米国と核兵器共有」と言う政治家が出てきた。「攻められたらどうする」と言いながら、改憲を煽るが、大事なものは攻められないために何をやるか、だ▼コロナには、マスク、補償付きの休業要請、公費の検査で陽性なら分離と入院、ワクチン希望者への速やかな接種。保健所、感染症床と急性期ベッド、医師と看護師を増やすこと、治療薬の研究開発など、重層的な対策をとる政治が必要である▼攻められないためには。学問や芸術、スポーツの交流、災害時や経済の助け合い、国境問題には歴史を踏まえた根強い交渉、軍事同盟ではなく、戦わないための多国間連合など、重層的な対応ができる政府が必要である。(和)